



高郷の地質年表

200万年前	ヒトの時代 (新生代第四紀) <small>しんせいだいだいよんき</small>	段丘たいせき物 <small>だんきゆう ぶつ</small>
6,500万年前	ホニユウ類の時代 (新生代第三紀) <small>しんせいだいだいさんき</small>	藤峠層 (ふじとうげそう)
		塩坪層 (しおつぼそう)
		漆窪層 (うるしくぼそう)
		荻野層 (おぎのそう)
		利田層 (かがたそう)
	キョウリュウやアンモナイトの時代 (中生代) <small>ちゆうせいだい</small>	花崗閃緑岩 <small>かこうせんりよくがん</small>

「会津最後の海」が広がっていたのは、「ホニユウ類」の先祖がほぼ出そろった、新生代第三紀の後半の時代 (新第三紀) です。

地層には、高郷村内の地名が多く使われています。地層の名前には、その地層がよく観察できる代表的な場所の地名をつけるためです。地層や化石の宝石箱のような高郷で、手と目と頭を使って「会津の海」のうつりかわりを調べていきましょう。

ふくそう・もちもの・マナーは、いいかな？



図4 野外学習のふくそう

野外では、ぼうしをかぶろう。服
ぞうは、長そで長ズボンが安全だね。

ハンマーを使うときは、とくに気
をつけて！そばに人がいないが、足
元は安全か、落石はないか、よく目
をくばってね。

採集は最小限にしよう。採集した
場所、採集年月日、採集者をいつも
記録すると、あとで役立つよ。

採集地のあとしまつも忘れずに！